

平成23年 1月の結果 (二人以上の世帯)

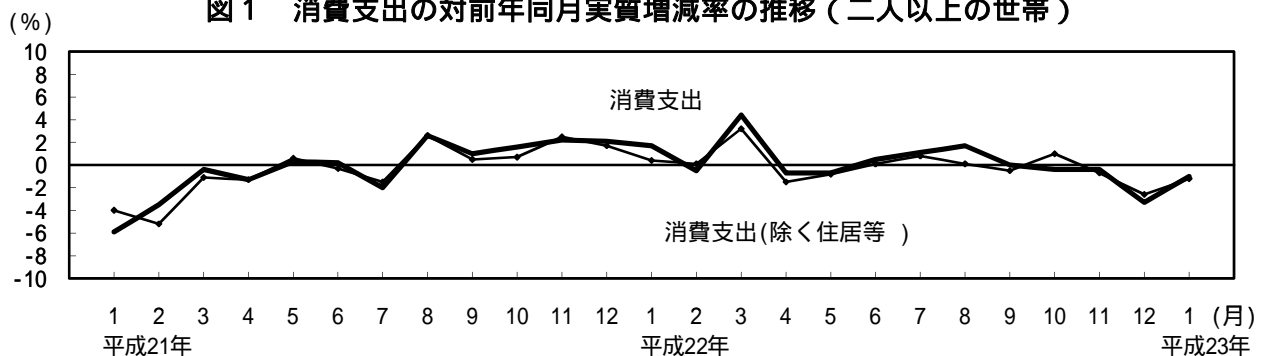
二人以上の世帯

消費支出は、1世帯当たり 289,191 円			
前年同月比	実質 1.0%の減少 名目 0.9%の減少	前月比(季節調整値)	実質 1.0%の増加
消費支出(除く住居等)は、			
前年同月比	実質 1.2%の減少 名目 1.1%の減少	前月比(季節調整値)	実質 1.3%の減少
うち勤労者世帯の実収入は、		うち勤労者世帯の消費支出は、	
前年同月比	実質 3.5%の減少 名目 3.4%の減少	前年同月比	実質 1.3%の減少 名目 1.2%の減少

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

1 消費支出の推移

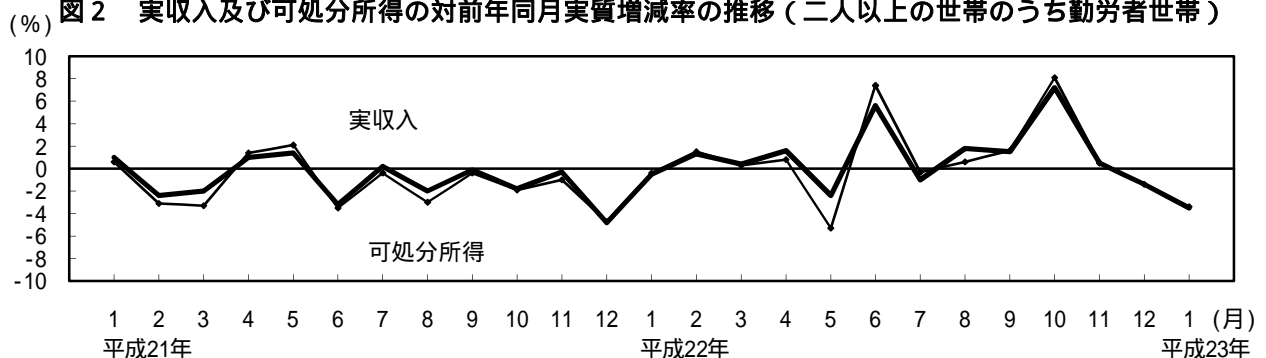
図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	平成22年												平成23年
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
消費支出	1.7	-0.5	4.4	-0.7	-0.7	0.5	1.1	1.7	0.0	-0.4	-0.4	-3.3	-1.0
消費支出(除く住居等)	0.4	0.1	3.2	-1.5	-0.8	0.1	0.8	0.1	-0.5	1.0	-0.7	-2.6	-1.2

2 勤労者世帯の収入の推移

図2 実収入及び可処分所得の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	平成22年												平成23年
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
実収入	-0.5	1.3	0.4	1.6	-2.4	5.6	-1.0	1.8	1.5	7.2	0.5	-1.4	-3.5
可処分所得	-0.4	1.5	0.3	0.8	-5.3	7.4	-0.3	0.6	1.6	8.1	0.5	-1.4	-3.4
消費支出	1.5	-2.2	3.6	-2.3	-3.4	0.3	1.0	2.7	2.5	4.4	1.8	-2.8	-1.3
平均消費性向	1.7	-2.8	3.2	-2.7	1.8	-3.5	0.9	1.6	0.8	-2.8	1.0	-0.7	1.9

*：対前年同月ポイント差

3 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（平成23年 1 月 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	289,191	-0.9	-1.0	-1.0		4 か月連続の実質減少
食 料	62,842	-2.2	-2.4	-0.53	<減 少> 外食,果物など	6 か月連続の実質減少
住 居	16,477	1.1	1.5	0.09	<増 加> 家賃地代など	3 か月連続の実質増加
光 熱 ・ 水 道	27,411	4.9	2.2	0.20	<増 加> 他の光熱,電気代など	3 か月ぶりの実質増加
家具・家事用品	8,979	-4.0	-0.6	-0.02	<減 少> 室内装備・装飾品,家事サービス	8 か月ぶりの実質減少
被 服 及 び 履 物	12,521	-3.7	-3.7	-0.16	<減 少> 洋服,被服関連サービス	3 か月連続の実質減少
保 健 医 療	12,779	3.3	3.4	0.15	<増 加> 保健医療用品・器具,医薬品	2 か月連続の実質増加
交 通 ・ 通 信	37,837	-1.0	-1.8	-0.23	<減 少> 自動車等関係費	4 か月連続の実質減少
教 育	10,737	-4.6	9.5	0.37	<増 加> 授業料等	2 か月ぶりの実質増加
教 養 娛 楽	26,937	-6.7	-6.4	-0.64	<減 少> 教養娯楽サービス,教養娯楽用品など	2 か月連続の実質減少
その他の消費支出	72,672	0.7	(0.6)	(0.15)	<増 加> 仕送り金など	7 か月ぶりの増加

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 減少項目 >

実質寄与度

自動車等関係費	[-0.52]	自動車購入, ガソリン
交際費	[-0.39]	贈与金
教養娯楽サービス	[-0.24]	国内パック旅行費, 外国パック旅行費
洋服	[-0.22]	背広服, 婦人服
諸雑費	[-0.22]	非貯蓄型保険料, たばこ
外食	[-0.21]	飲酒代, 日本そば・うどん
教養娯楽用品	[-0.21]	音楽・映像収録済メディア, テレビゲーム機
果物	[-0.12]	みかん, いちご

< 増加項目 >

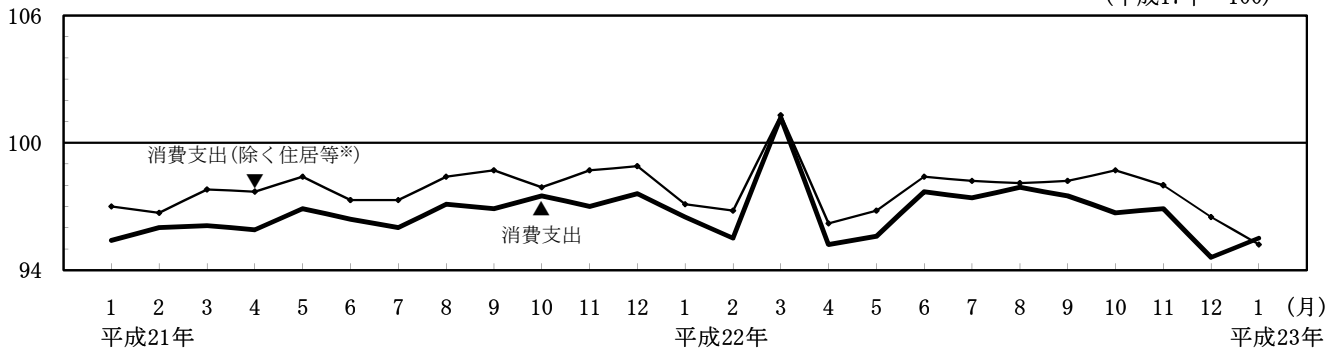
授業料等	[0.47]	専修学校, 私立大学
通信	[0.20]	移動電話通信料, 固定電話通信料
他の光熱	[0.10]	灯油

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移（二人以上の世帯）

（平成17年＝100）



	平成22年												平成23年
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
消費支出	96.5	95.5	101.2	95.2	95.6	97.7	97.4	97.9	97.5	96.7	96.9	94.6	95.5
対前月変化率(%)	-1.1	-1.0	6.0	-5.9	0.4	2.2	-0.3	0.5	-0.4	-0.8	0.2	-2.4	1.0
消費支出(除く住居等※)	97.1	96.8	101.3	96.2	96.8	98.4	98.2	98.1	98.2	98.7	98.0	96.5	95.2
対前月変化率(%)	-1.8	-0.3	4.6	-5.0	0.6	1.7	-0.2	-0.1	0.1	0.5	-0.7	-1.5	-1.3

注1 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

2 季節調整値は、毎年1月結果公表時に、過去に遡って改定している。

4 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（平成23年1月－二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	419,728	-3.4	-3.5	-3.5	2か月連続の実質減少
世帯主収入	341,810	-4.7	-4.8	-3.93	3か月連続の実質減少
定期収入	337,269	-3.7	-3.8	-3.05	3か月連続の実質減少
配偶者の収入	46,756	-1.0	-1.1	-0.12	12か月ぶりの実質減少
うち女性	46,169	-1.9	-2.0	-0.22	2か月連続の実質減少
他の世帯員収入	8,802	15.7	15.6	0.27	8か月連続の実質増加
非消費支出	69,365	-3.8	—	—	2か月連続の減少
可処分所得	350,363	-3.3	-3.4	—	2か月連続の実質減少
消費支出	317,907	-1.2	-1.3	—	2か月連続の実質減少
平均消費性向(%)	90.7	(前年同月) (ポイント差)			季節調整値でみると、74.1%で、前月と同水準となった。
		88.8	1.9		